

平成29年度(2017年度)

管理事業名	し尿処理事業				総合計画の体系	第5章 第3節	環境を守り育てるまちづくり 環境を基調とするまちづくり	
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 2	清掃費	(目) 3	し尿処理費	
部局名	環境部	予算執行所属		事業課				
予算大事業名	し尿収集運搬処理事業 事業課業務グループ庁舎施設管理事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)衛生費(項)保健衛生費(目)公衆便所維持管理経費 公衆便所維持管理事業					
事業の目的と概要								
<p>・し尿処理事業は、廃棄物処理法及び浄化槽法に基づき、くみ取り便所及び浄化槽を設置している一般家庭・事業所からのし尿収集や浄化槽汚泥等の搬入受入れを行い、公衆衛生の向上を図ることを目的としています。</p> <p>主な業務内容は次のとおりです。</p> <p>・し尿収集業務は、し尿収集運搬業務委託及び仮設トイレの収集受付、し尿処理手数料の徴収業務を行っています。</p> <p>・浄化槽業務は、浄化槽の清掃受付、浄化槽の設置に関する届出書等の事務及びし尿処理(浄化槽)手数料の徴収業務を行っています。</p> <p>・事業課業務グループ庁舎施設管理業務は、し尿及び浄化槽汚泥等の搬入受入れの施設として、適正な管理運営を行っています。</p> <p>・公衆便所維持管理業務は、高浜神社内の公衆便所の維持管理を行っています。</p>								

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
し尿収集延件数	件	9,625	9,211	8,870	年間し尿収集延件数
浄化槽清掃受付延件数	件	428	411	424	年間浄化槽清掃受付延件数
成果の説明	<p>・し尿の収集は、地域ごとに収集日を定めた2週間に1回の定曜日収集を行っています。公共下水道の普及により、し尿収集延件数は減少傾向です。</p> <p>・浄化槽の清掃は浄化槽清掃業許可業者から清掃受付を行い、汚泥の受入れを行っています。浄化槽の設置基数は減少傾向ですが、マンションやビル等の地下汚水槽のビルビット汚泥の清掃受付が年度により変動がみられますので、清掃受付延件数は年度により増減傾向があります。</p>				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	4,743	3,612	4,746	1,134
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	160	142	155	13
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	50	1	△49
経常収入 小計(a)	4,903	3,804	4,902	1,098
給与関係費	36,264	36,045	43,581	7,537
物件費	29,158	29,130	29,186	56
維持補修費	500	1,008	457	△551
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	7,531	6,798	7,325	527
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	5,436	5,436	5,436	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,038	3,090	3,759	670
退職手当引当金繰入額	9,827	2,496	9,787	7,291
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	91,753	84,003	99,531	15,529
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△86,850	△80,198	△94,629	△14,431
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△86,850	△80,198	△94,629	△14,431
一般財源充当額	74,958	75,548	82,777	7,229
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△11,893	△4,650	△11,852	△7,201

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	し尿処理手数料 4,366千円 一般廃棄物収集運搬業許可申請手数料190千円 浄化槽清掃業許可申請手数料 190千円
物件費	し尿収集運搬業務委託料 25,577千円 庁舎機械警備業務委託料 866千円 庁舎光熱水費 961千円 公衆便所光熱水費 35千円
負担金・補助金・交付金等	し尿処理負担金 7,325千円 し尿浄化槽汚泥等の搬入量の増によるものです。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	4,903	3,754	4,902	1,148
行政サービス活動支出	79,861	79,303	87,680	8,377
行政サービス活動収支差額	△74,958	△75,548	△82,777	△7,229
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△74,958	△75,548	△82,777	△7,229
一般財源充当額	74,958	75,548	82,777	7,229
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	内容
(行政サービス活動収入)	し尿処理手数料 4,366千円
(行政サービス活動支出)	し尿収集運搬業務委託料 25,577千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
し尿及び浄化槽汚泥等1㍓あたりのコスト	平成27年度	1,978,790 ㍓	46 円	し尿及び浄化槽汚泥等1㍓あたり51円のコストがかかっています。
	平成28年度	1,799,010 ㍓	47 円	
	平成29年度	1,952,430 ㍓	51 円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	3,090	3,759	670
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	3,090	3,759	670
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	203,149	197,713	△5,436	固定負債	34,944	40,691	5,746
土地	134,145	134,145	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	69,004	63,568	△5,436	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	34,944	40,691	5,746
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	50	50	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	38,034	44,450	6,416
土地	-	-	-	純資産	165,165	153,313	△11,852
建物・工作物	-	-	-	重要物品	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	図書館資料	-	-	-
重要物品	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
図書館資料	-	-	-	出資金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
基金	-	-	-	基金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
その他債権	-	-	-	その他債権	-	-	-
資産の部合計	203,199	197,763	△5,436	純資産の部合計	165,165	153,313	△11,852
				負債及び純資産の部合計	203,199	197,763	△5,436

Ⅲ 財務構造分析

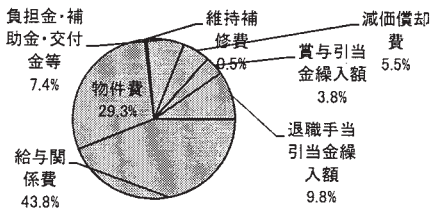
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均 6人	月平均 人	年間従事延日数 日	実人数 人	
給与関係費等	57,128千円	千円	千円	千円	57,128
内、時間外勤務手当	682千円				

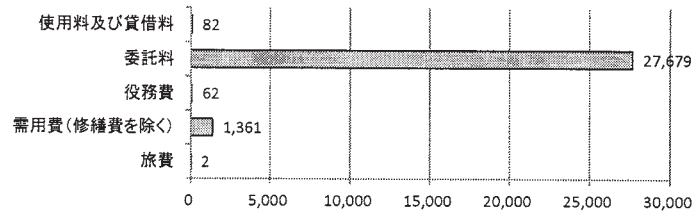
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	事業課業務グループ庁舎減価償却による5,436千円の減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	事業課業務グループ庁舎
取得年月日	昭和51年(1976年)5月1日
建物・工作物の取得価額	520,380千円
建物・工作物の減価償却累計額	456,812千円
利用料金収入	-千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率	0.1	0.2	0.1	△0.1
施設老朽化比率	85.7	86.7	87.8	1.1
受益者負担比率	5.2	4.3	4.8	0.5
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	93.9	95.3	94.4	△0.9
経常費用対公共資産比率	17.6	16.1	19.1	3.0

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の構成割合は、給与関係費43,581千円(43.8%)の占める割合が高く、ほか物件費29,186千円(29.3%)、負担金・補助金・交付金等7,325千円(7.4%)、減価償却費5,436千円(5.5%)などとなっています。物件費の主な内訳としては、委託料が94.8%で多くを占め、主な内容はし尿収集運搬業務委託料が25,577千円、庁舎機械警備業務委託料などの施設管理委託料が2,103千円となっています。減価償却により建物資産が5,436千円減少し、63,568千円となっています。事業課業務グループ庁舎の老朽化率が87.8%で、市保有施設全体の老朽化比率57.0%と比べても老朽化率が進行している施設です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

本事業は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)及び浄化槽法に基づき、し尿収集及び浄化槽汚泥の受入を行い、公衆衛生の向上を目的とした市の責務として今後も必要な事業です。公共下水道普及に伴い、し尿収集件数が減少していくなかで、し尿収集運搬業務の全面委託化やし尿処理施設の廃止など事業の効率化を図ってきました。あわせて災害時に備えてし尿収集体制の確保、浄化槽汚泥の受入など適正な事業運営が重要と考えます。また、事業課業務グループ庁舎は建築後42年が経過していることや、平成15年度末で廃止になった旧化学処理場(し尿処理施設)を庁舎として利用していることから、施設の今後のあり方が課題となっています。